



2020年3月期第2四半期決算説明会

荒川三山(赤石岳から)



特種東海製紙株式会社



目次

・ 会社概要	(p1)		
<u>2020年3月期第2四半期連結決算概要</u>		<u>「基盤事業の強化・変革」 生活商品事業</u>	
・ 第2四半期連結業績実績	(p2)	・ (株)トライフ 技術開発	(p11)
・ 営業利益の増減要因(第2四半期)	(p3)	・ (株)トライフ 技術の成果	(p12)
・ セグメント情報	(p4)	・ 特種東海エコロジー(株)の業績推移	
<u>2020年3月期通期連結業績見通し</u>		<u>「環境関連ビジネス」</u>	
・ 2020年3月期連結業績見通し	(p5)	・ 台風19号による被害・影響	(p13)
・ 営業利益の増減要因(2020年3月期見通し)	(p6)		
<u>第四次中期経営計画の進捗</u>		<u>「成長戦略・海外戦略」</u>	
・ 過去の連結数値と今中計(NEXT10)	(p7)	・ ファンシーペーパーの新市場 海外展開	(p14)
・ 中計最終年度営業利益着地見込	(p8)	・ 保護紙の海外展開(株)TTトレーディング)	(p15)
		・ 偽造防止用紙 ー海外に向けた取り組みー	(p16)
<u>「基盤事業の強化・変革」 産業素材事業</u>		・ ウィスキー製造に向けて井川蒸留所建設	(p17)
・ 新東海製紙(島田工場)のプレゼンス向上	(p9)	・ (株)レックスのリサイクルビジネスの拡大	(p18)
<u>「基盤事業の強化・変革」 特殊素材事業</u>			
・ 特殊素材事業のトピックス	(p10)		



会社概要

- 社名 特種東海製紙株式会社
- 本店所在地 静岡県島田市向島町4379番地
- 設立 2007年4月
- 代表者 代表取締役社長 社長執行役員 松田 裕司
- 資本金 11,485百万円
- 従業員数(連結) 1,490名(2019年3月)
- 事業内容 紙・パルプの製造、加工、販売
- 工場 三島、島田、岐阜、その他



2020年3月期第2四半期 連結決算概要



第2四半期連結業績実績

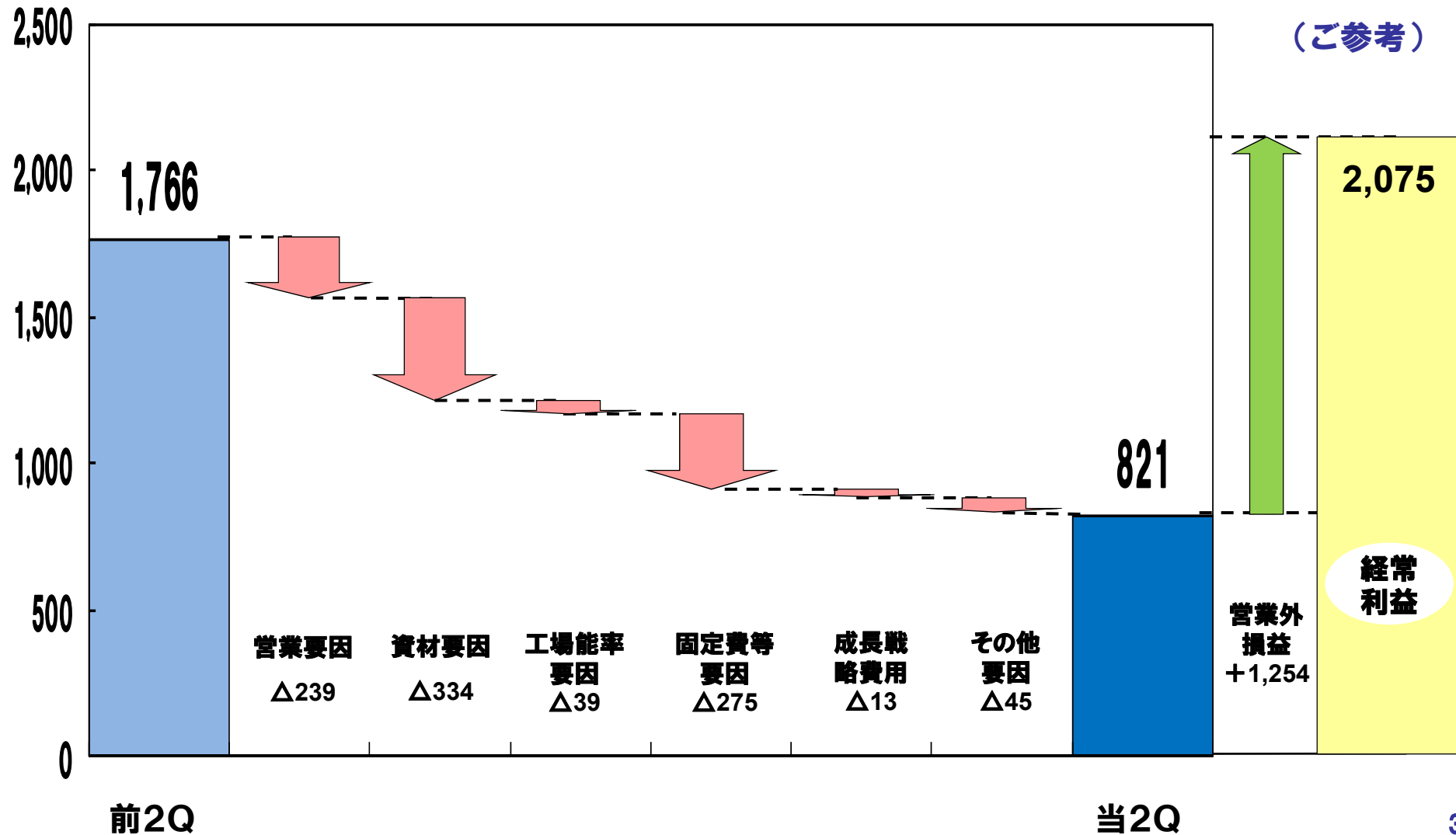
(単位:百万円)

	前2Q実績	今2Q実績	増減
売上高	39,302	39,870	568
営業利益	1,766	821	△945
経常利益	2,719	2,075	△644
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,993	1,290	△703
売上高 営業利益率	4.5%	2.1%	—

(注)第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行っており、当該表示方法の変更を反映した前期数値と比較して記載しております。

営業利益の増減要因(第2四半期)

単位:百万円



セグメント情報

単位:百万円

		2019年3月期2Q	2020年3月期2Q	増減
産業素材事業	売上高	19,914	19,711	△203
	営業利益	872	282	△590
特殊素材事業	売上高	11,120	10,976	△144
	営業利益	920	409	△511
生活商品事業	売上高	8,948	8,984	36
	営業利益	118	205	87
その他	売上高	2,729	2,745	16
	営業利益	△45	△53	△8
消 去	売上高	△3,411	△2,548	863
	営業利益	△98	△22	76
合 計	売上高	39,302	39,870	568
	営業利益	1,766	821	△945

(注)第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行っており、当該表示方法の変更を反映した前期数値と比較して記載しております。



2020年3月期連結業績見通し



2020年3月期連結業績見通し

(単位:百万円)

	前期実績	今期見通し	増減
売上高	81,901	82,000	99
営業利益	3,142	2,000	△1,142
経常利益	5,353	3,900	△1,453
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,212	2,300	△1,912
売上高 営業利益率	3.8%	2.4%	—

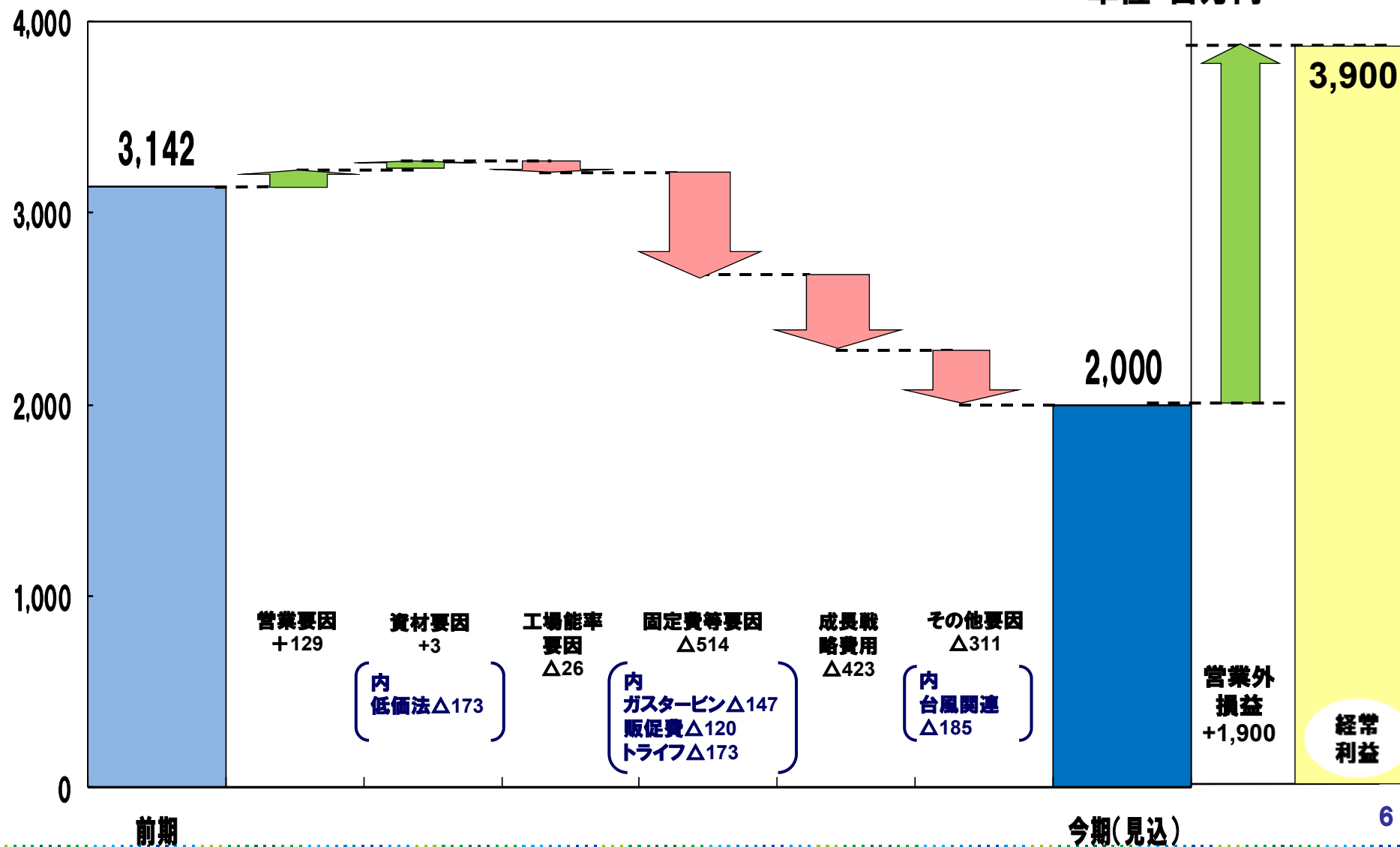
前提 為替レート 上期110円/US\$ 下期105円/US\$

原油価格(ドバイ) 上期60\$/B 下期63\$/B

(注)第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行っており、当該表示方法の変更を反映した前期数値と比較して記載しております。

営業利益の増減要因(2020年3月期見通し)

単位:百万円





第四次中期経営計画の進捗 (2017年度～2019年度)

NEXT 10
～ 次なる成長 次なる挑戦 ～



過去の連結数値と今中計(NEXT10)

第四次中期経営計画期間

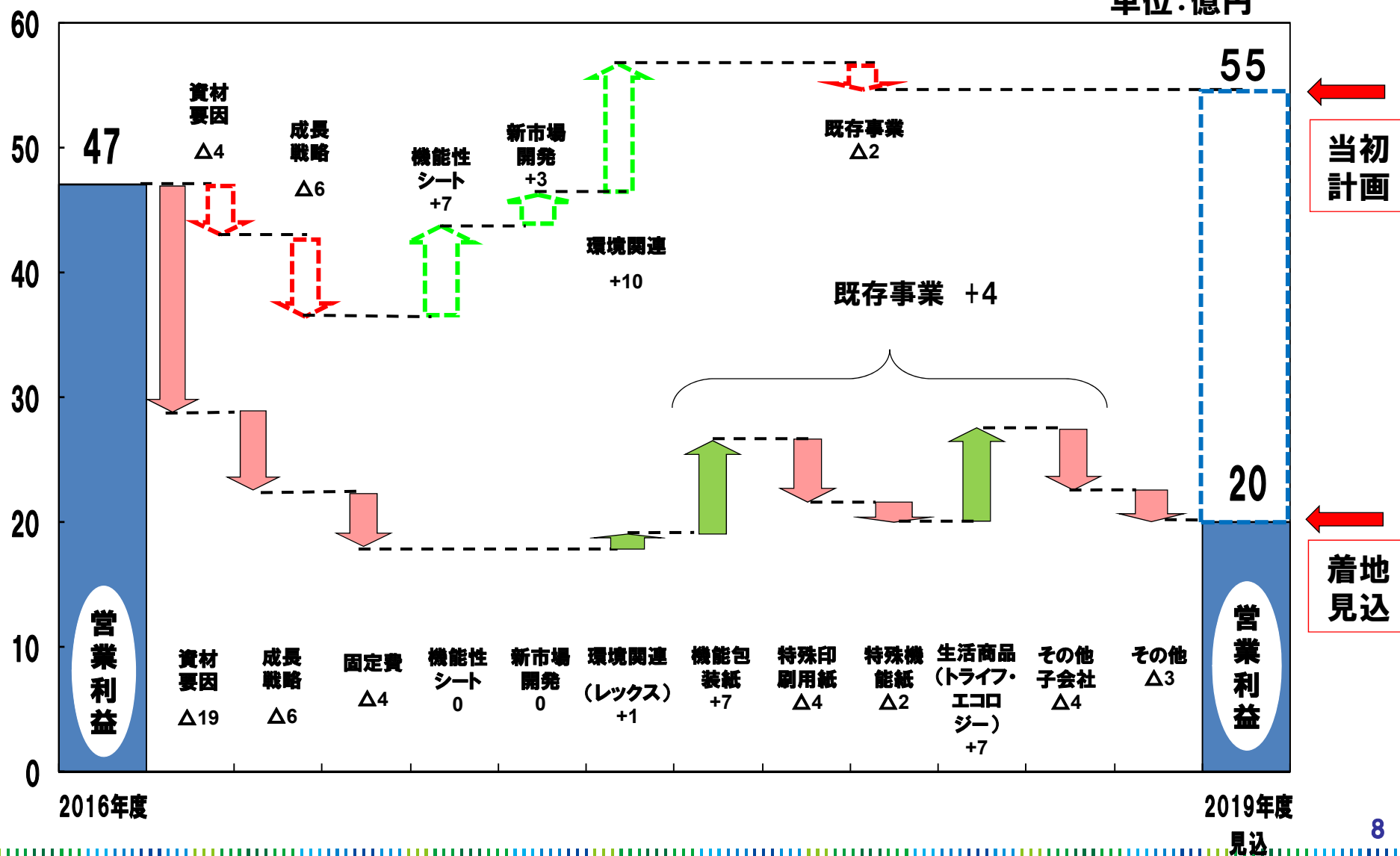
単位:億円

	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期 見込	2020/3期 中計最終 年度目標
売上高	777	791	818	820	850
営業利益	47	39	31	20	55
経常利益	51	32	54	39	—
営業利益率 (経常利益率)	6.1%	5.0%	3.8% (6.5%)	2.4% (4.8%)	6.5%
ROE	5.6%	3.3%	6.1%	3.3%	5.0~ 6.0%
TSR (株主総利回り)	188.5%	185.9%	188.7%	—	—
政策保有株売却額	11	11	13	—	—

※ TSRは2014/3期末株価を基準に5年分の数値を記載

中計最終年度 営業利益 着地（見込）

単位：億円





「基盤事業の強化・変革」

産業素材事業



産業素材事業Gの基盤強化・変革

産業素材

新東海製紙(島田工場)のプレゼンス向上

板紙において、新東海製紙(島田工場)の高能率な生産体制が、NTIの利益に大きく貢献している。

クラフト紙においても新東海製紙(島田工場)のUKP生産力を生かし、増産体制を整える。

- ・日本製紙のクラフト紙の一部を新東海製紙島田工場6号機へ移抄 (2019年10月～)



回収ボイラー
(R1B)



蒸解釜(3K)

島田工場のUKP生産量

	提携直後 上半期 (2017年4月～9月)	直近見込 (2019年10月～2020年3月見込)	増加率
UKP生産量	68,716 t	75,386 t	9.7%

島田工場のクラフト生産量

	提携直後 上半期 (2017年4月～9月)	直近見込 (2019年10月～2020年3月見込)	増加率
クラフト紙生産量	39,037 t	43,793 t	12.2%

島田6号機への移抄を受けてUPの見込



「基盤事業の強化・変革」

特殊素材事業



特殊素材事業Gの基盤強化・変革

特殊素材

NaSFA

プレミアム商品券受注状況

- ・92団体以上の自治体向けプレミアム商品券用紙が成約し、約300tの生産出荷を達成。
（当社のセキュリティ用紙が採用されている）



ガラス合紙は、引続き堅調に推移

- ・販売数量は顧客ニーズに素早く対応することで堅調に推移。
技術・品質・販売の課題をクリアすることで、今後も順調に推移の見込。



ファンシーペーパーのテコ入れ(TANT増色・マーメイド増、廃色)

- ・TANT増色・増連量⇒パッケージ分野での需要をクリエイトする。
- ・マーメイド増・廃色⇒商品構成をリニューアルし顧客ニーズにマッチした構成に再編。





「基盤事業の強化・変革」

生活商品事業



生活商品事業Gの基盤強化・変革 ～(株)トライフ 技術開発～

生活商品

NaSFA

環境対応を意識した商品の企画開発を継続中

- ・環境対応紙の拡大。(今年度は古紙品の【スノーク】追加)
- ・タウパーの外装用フィルムに植物由来の樹脂原料の検討
- ・印刷インキの水性化検討。



タウパー
部門

化繊混抄紙(クレープ紙)

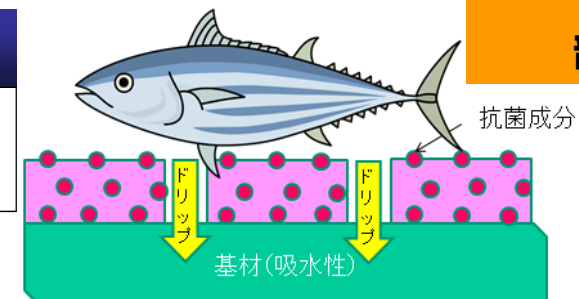
- ・紙を主原料に化学繊維を配合して高機能性製品の開発。
- ・ワイパー用紙として強度、伸縮性UP
- ・トライフN2マシンで商品の高付加価値化に寄与

ハイバリアーコート剤・(紙+PVDCコート)

- ・耐水、耐油機能にガスバリアー性を付与して食品の保存性をUP。
- ・ラミネートで生分解性の樹脂と併せて12月エコプロ出品予定。

食品向けの抗菌樹脂製品

- ・抗菌剤を樹脂に添加⇒鮮魚、肉の保存シート開発
- ・ベースは自社クレープ紙のドリップ吸水紙



ラミネート
部門

生活商品事業Gの基盤強化・変革 ～(株)トライフ 技術の成果～

生活商品

NaSFA

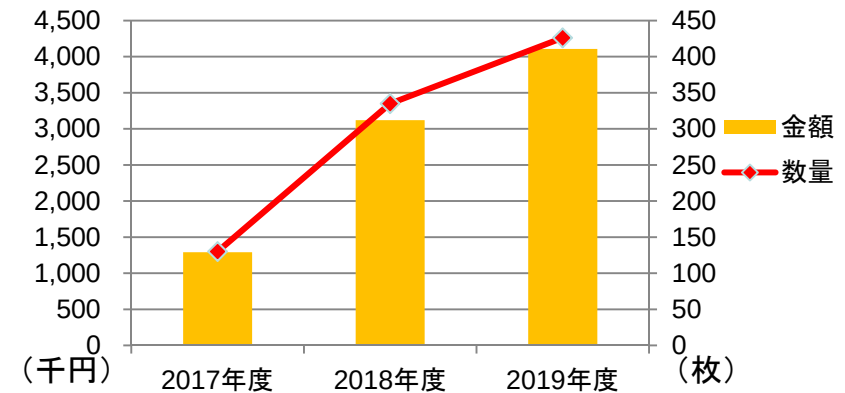
医療用シートの開発から拡販

(手術室床用シートとして開発)

- 片面は粘着加工
- 片面は防汚性不織布
- 2017年度に開発上市
- ・ラミ部門技術開発品を
タウパー部門の販路で拡販。



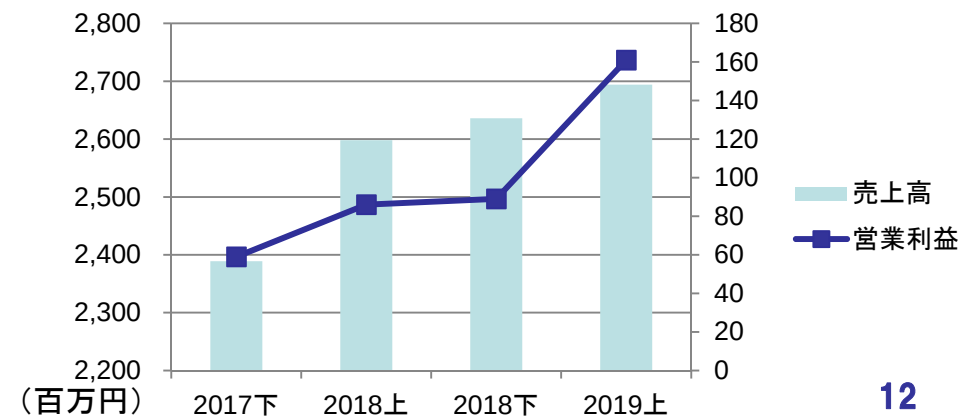
医療用シート上市から販売推移



生活商品事業Gの基盤強化・変革 ～特種東海エコロジー(株)の業績推移～

業績は堅調に推移

- ・トイレトペーパーはインバウンド効果等あり需要が堅調。売上は順調に推移
- ・値上げ効果も浸透し利益面も順調





環境関連ビジネス

台風19号による被害・影響

環境関連ビジネス(自然環境活用事業) ～台風によるリニア関連工事への影響～

台風19号による南アルプス社有林の被害

- ◆ 台風19号による影響でアクセス道路の林道が崩落する等の被害があった。
- ◆ 大型車両が通れないことから、リニア関連工事の工程が遅延している。
- ◆ ウィスキー工場の工事も遅延。⇒完全復旧には数か月を要する見込



JR東海と静岡県のリニア工事に関する合意形成の遅れ

- ◆ リニア静岡工区において、トンネル工事による大井川の減水問題でJR東海と静岡県・利水者との合意形成が遅れている。⇒着工時期が予定より遅れている。
- ◆ 国交省主導で、国、県、JRの3者による新協議体を設置へ。しかし、県は国交省の中立性を疑問視し議論は停滞。





「成長戦略・海外戦略」



ファンシーペーパーの新市場 海外展開

特殊素材

NaSFA

和紙楽活(KAMI Lab.)ブランド認知活動

2019年4月 Luxe Pack Shanghai



和紙楽活(KAMI Lab.)新製品開発

2019年4月に透瓷紙を上市

中国
市場



透瓷紙

TOJISHI

更にもう1製品を開発中
ラインナップ計6製品にて展開予定

欧州市場へ

和紙楽活の技術開発力を応用し、欧州大手企業との協業を開始した！

用途：パッケージ、書籍

保護紙の海外展開

(株)TTトレーディング

特殊素材

NaSFA

保護紙の海外市場規模と主なプレイヤー



世界の主なプレイヤー

- UNIVERSITY PRODUCTS(アメリカ)
- KLUG-CONSERVATION(ドイツ)
- LARSON-JUHL CONSERVATION BY DESIGN(イギリス)
- ARJOWIGGINS(フランス)

本格的アジア展開

保護紙の台湾拡販

当社の製品と技術を背景にFENKOを通してプロモーション



アジア展開は自力開拓以外にFENKOを通じての展開を計画

- ・マレーシア
- ・ベトナム
- ・インドネシア etc.

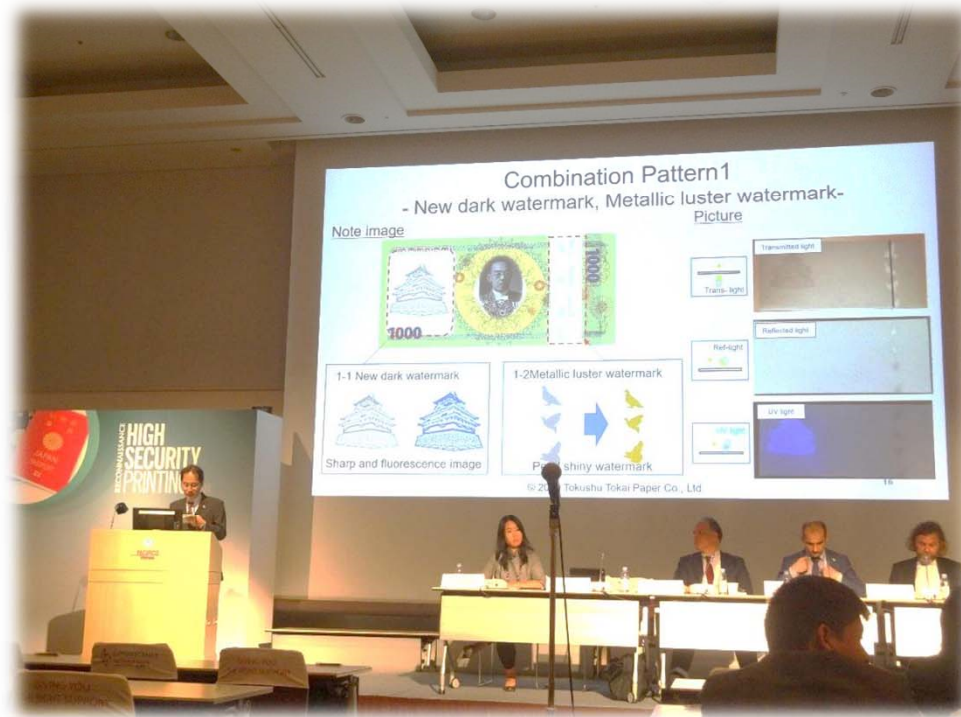
※数値は保護紙製函ベースでの年間市場規模 当社推定値

偽造防止用紙 ～海外に向けた取り組み～

NaSFA

海外での知名度向上

- ・セキュリティ分野における国際カンファレンスでの発表を予定。
- ・2019.11 High security printing（横浜） 11/25～11/27
新技術提案により、当社技術力のアピール及び海外顧客の獲得を目指す。



環境関連ビジネス(自然環境活用事業) ～ウイスキー製造に向けて井川蒸溜所建設～

井川社有林の自然環境、特に水を活かし、
本物のジャパニーズウイスキーを創造する

- ◆ 会社創業から守ってきた井川社有林の価値は自然環境。そこで生まれる天然水と木材(樽材=ミズナラ)を活かす。
- ◆ ウイスキーは自然素材を原料としつつ一定品質の製品を造る点が製紙業と共通。
- ◆ シングルモルトウイスキー製造の基本や本質を踏まえつつ、製紙業で培った工程管理技術を応用し、安定したニューメイク(原酒)造りを目指す。
- ◆ 長期熟成にこだわり、先達が築いたジャパニーズウイスキーの名に恥じない、それを越えるウイスキーを創造する。
- ◆ 2020年7月の酒造免許取得、仕込み開始をめざす。



環境関連ビジネス(資源再活用事業) ～(株)レックスのリサイクルビジネスの拡大～

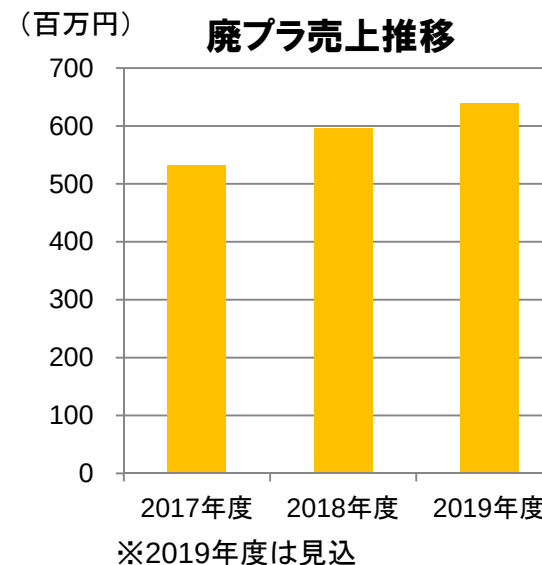
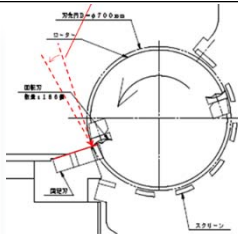
環境関連

レックス既存事業の強化

- ・ **長泉物流センター敷地内にRPF工場の新設を計画**
2020年3月稼働を目指して準備中
三島工場10号ボイラーへの供給を強化する
廃プラスチックの有効利用を促進し、環境に貢献する
- ・ **島田工場増産に向けて破砕機改造計画**
⇒RPF増産に寄与



※長泉物流センター内 建設地



川上領域への進出

- ・ 異業種とのパートナーシップの構築
- ・ アライアンスの構築(木くず・RPF)

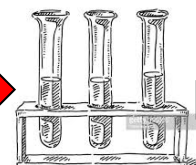
事業領域の
拡大目指す

焼却灰の活用

さらに一歩踏み込んだリサイクルへ挑戦



ボイラ焼却灰



成分分析



混練等の処理



土質改良等で再利用

（ご参考） NaSFAについて

NaSFAとは

当社の商品開発に係る技術力を4つに分類したもの。
それぞれ以下の意味を表す。



① Na : Nano technology （ナノテクノロジーから広がる新たな可能性）
⇒紙の領域を超えたシート状物の開発

② S : Security （偽造防止技術によるグローバル展開）
⇒黒すかし技術、最新スレッド挿入技術等を用いた製品を投入
⇒2020年東京オリンピックでの採用に向けた新規要素技術の開発

③ F : Fusion （技術融合による新市場の創造）
⇒各事業部、関連会社の強みとなる差別化された技術を融合

④ A : Art （新規加工技術による挑戦）
⇒新加工技術による新たな機能付与とコストの削減



お問い合わせ先:財務・IR室

〒104-0028

**東京都中央区八重洲2-4-1
ユニゾ八重洲ビル**

Tel 03-3281-8581

Fax 03-3281-8591

本資料に掲載しております当社の計画および施策などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。様々なリスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。